

紅葉狩

特 113

889



始



将113
889



役	シテ上	ツレ (侍女四人 又六人にも)	後シテ 鬼	ワ キ 平 惟 茂	ツレ 從 人
別	臈	女	女	茂	人
装	臈	女	女	茂	人
東	東	東	東	東	東
附	附	附	附	附	附
所	信濃國戸隠山	類別	尾	能	能
季	季	季	季	季	季
〔面〕泣増 髷 同帶 着附箔 唐織着流し 扇	〔面〕小面 髷 同帶 着附箔 唐織着流し 扇無し	〔面〕髷 赤頭 着附厚板 法被 半切 腰帶 打杖	梨子打鳥帽子 白鉢巻 髷 着附厚板 白大口 長絹 腰帶 弓矢 扇	素袍男五六人 中一人太刀持	
					月

紅葉狩

内之部卷之七ノ五



紅葉狩一

解説

始め大小坐着き、臺、作物引廻しかけ大小前へ出す。夫より次第にてシテ、ツレと出で、舞臺に入り向き合ひ誦ふ。

シテ次第表 『時雨を急ぐ紅葉狩』 此處ハツキリ誦ふべし。上歌の留メにてシテ、ワキ坐に行き下に居、ツ

レ順にその次に下に居る。

一聲にてワキ、同ツレと出で、橋懸にて留め誦ふ。

ワニ 教 裏 『面白や頃は長月廿日あまり』 此處ハツキリ誦ふべし。

初四 教 裏 『馬より下りて沓をぬぎ』 此地は少しかりめに誦ふ。

シ同 教 表 『實にや敷ならぬ身程の山の奥に來て』 此處は納めて誦ふべし。以下の懸合宜しくありて

地六 教 表 『さすが岩木にあらざれば』 とシテ、ワキと入れ替り、ワキは脇坐、シテは中へ行き向き合

ひ、下に居る。

クセ クセの中 『向へは變る心かな』 にて、シテ、ワキへ向き形あり、地は心得て誦ふ

べし。此後にもシテに形種々あれば同じく篇と心得、見計ひ誦ふ事勿論なり。中入、來席、シテは

作物へ入り、ツレは幕へ引くなり。

夫より間出で、ワキへセリフあり、右濟みて狂言言幕へ引くと、

ワ九 教 表 『荒淺ましや我ながら』 と、ワキはハツキリ誦ふ。

地九 教 裏 『驚く枕に雷火亂れ』

地十 教 表 『咸陽宮の烟の中に』

此處にてワキ、梨子打長絹脱ぎ、モギドウになる、太刀。

此處にてシテ、作物より出づ、以下シテ、ワキとも種々とり合ひあり、

篇と見計ひ誦ふべし。

一
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百
 一百零一
 一百零二
 一百零三
 一百零四
 一百零五
 一百零六
 一百零七
 一百零八
 一百零九
 一百一十
 一百一十一
 一百一十二
 一百一十三
 一百一十四
 一百一十五
 一百一十六
 一百一十七
 一百一十八
 一百一十九
 一百二十
 一百二十一
 一百二十二
 一百二十三
 一百二十四
 一百二十五
 一百二十六
 一百二十七
 一百二十八
 一百二十九
 一百三十
 一百三十一
 一百三十二
 一百三十三
 一百三十四
 一百三十五
 一百三十六
 一百三十七
 一百三十八
 一百三十九
 一百四十
 一百四十一
 一百四十二
 一百四十三
 一百四十四
 一百四十五
 一百四十六
 一百四十七
 一百四十八
 一百四十九
 一百五十
 一百五十一
 一百五十二
 一百五十三
 一百五十四
 一百五十五
 一百五十六
 一百五十七
 一百五十八
 一百五十九
 一百六十
 一百六十一
 一百六十二
 一百六十三
 一百六十四
 一百六十五
 一百六十六
 一百六十七
 一百六十八
 一百六十九
 一百七十
 一百七十一
 一百七十二
 一百七十三
 一百七十四
 一百七十五
 一百七十六
 一百七十七
 一百七十八
 一百七十九
 一百八十
 一百八十一
 一百八十二
 一百八十三
 一百八十四
 一百八十五
 一百八十六
 一百八十七
 一百八十八
 一百八十九
 一百九十
 一百九十一
 一百九十二
 一百九十三
 一百九十四
 一百九十五
 一百九十六
 一百九十七
 一百九十八
 一百九十九
 二百

次
分
女

五
三
九

Handwritten musical notation on the right page, consisting of seven staves of music with various notes and rests.

Handwritten musical notation on the left page, consisting of seven staves of music with various notes and rests.

Handwritten character or mark at the top left of the page.

Handwritten character or mark at the bottom left of the page.

Handwritten text in Devanagari script on page 11. The text consists of approximately 12 lines of cursive script. A small number '11' is written at the top left of the page. The text appears to be a mix of prose and possibly a short story or a list of items, though the specific words are difficult to decipher due to the cursive style.

Handwritten text in Devanagari script on page 12. The text consists of approximately 12 lines of cursive script. At the top left of the page, there is a small number '12'. The text is written in a similar cursive style to page 11 and continues the narrative or list of items.

41
 42
 43
 44
 45
 46
 47
 48
 49
 50
 51
 52
 53
 54
 55
 56
 57
 58
 59
 60
 61
 62
 63
 64
 65
 66
 67
 68
 69
 70
 71
 72
 73
 74
 75
 76
 77
 78
 79
 80
 81
 82
 83
 84
 85
 86
 87
 88
 89
 90
 91
 92
 93
 94
 95
 96
 97
 98
 99
 100

101
 102
 103
 104
 105
 106
 107
 108
 109
 110
 111
 112
 113
 114
 115
 116
 117
 118
 119
 120
 121
 122
 123
 124
 125
 126
 127
 128
 129
 130
 131
 132
 133
 134
 135
 136
 137
 138
 139
 140
 141
 142
 143
 144
 145
 146
 147
 148
 149
 150
 151
 152
 153
 154
 155
 156
 157
 158
 159
 160
 161
 162
 163
 164
 165
 166
 167
 168
 169
 170
 171
 172
 173
 174
 175
 176
 177
 178
 179
 180
 181
 182
 183
 184
 185
 186
 187
 188
 189
 190
 191
 192
 193
 194
 195
 196
 197
 198
 199
 200

1. ...
 2. ...
 3. ...
 4. ...
 5. ...
 6. ...
 7. ...
 8. ...
 9. ...
 10. ...

1. ...
 2. ...
 3. ...
 4. ...
 5. ...
 6. ...
 7. ...
 8. ...
 9. ...
 10. ...

き・は・捨・て・る・人・の・情・は・高・乃
空・の・雲・は・白・く・も・た・る・林
間・の・鳥・は・鳴・く・も・た・る・焼
け・た・木・は・黒・く・も・た・る・と
ほ・の・る・乃・は・高・く・も・た・る
お・た・る・乃・は・高・く・も・た・る
か・は

た・ま・は・乃・は・高・く・も・た・る
胸・は・ち・は・高・く・も・た・る
よ・の・人・は・高・く・も・た・る・行・乃
茶・の・り・は・高・く・も・た・る
思・ひ・は・高・く・も・た・る
う・た・は・乃・は・高・く・も・た・る
た

上
上
かきよふくはむらひ
にみけくはむらひ
かきよふくはむらひ
かきよふくはむらひ
かきよふくはむらひ

かきよふくはむらひ
かきよふくはむらひ
かきよふくはむらひ
かきよふくはむらひ
かきよふくはむらひ
かきよふくはむらひ
かきよふくはむらひ
かきよふくはむらひ
かきよふくはむらひ
かきよふくはむらひ



有所權作著

大正五年四月

九日發行

東京市深川區西平野町一番地

著作者 寶生九郎



東京市日本橋區通四丁目八番地

發行者 江島伊兵衛



東京市日本橋區通四丁目八番地

發行所 椀屋謠曲書肆

東京市神田區皆川町二番地

印刷者 田村茂太郎

終

